

新十津川町立新十津川中学校 学校教育活動紹介

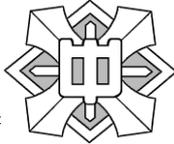
校長 鎌田 浩志

○学校紹介

昭和45年に町内の8中学校（新十津川、花月、大和、吉野、学園、美沢、上吉野、幌加）が統合され新十津川中学校となる。母村である奈良県十津川村の「文武の心」を礎とした教育が現在まで継承されており、剣道部は全国大会に出場するほどである。

「知性を磨き創意工夫する生徒」「個性を生かし心豊かに活動する生徒」「心身を鍛え逞しく生きる生徒」の教育目標達成を図るため、家庭学習BOX、放課後学習サポート、道徳講演会、日ハムコーチによる体力向上授業など、知・徳・体の調和の取れた教育活動を、チーム学校を意識して展開している。

校章は、町章（菱十：十津川村と同じ）の上に四地域、八分教場の学校が統合した事を示し、四本のペンの形を組み合わせ文武の町、勤勉進取の気性をあらわしている。



○行事や特色ある活動の様子

歌声交流会

毎年12月に町内の「ゆめりあホール」で開催しています。生徒の発表だけでなく、地域の合唱団の発表との交流も行い、多くの保護者や地域の皆様に足を運んで頂き、感動ある交流会となっています。



RBP活動(生徒会)

生徒会が主体となり、これまで集めたリングブルで車椅子2台を町内の施設に寄贈し、ベルマークは生徒会活動に必要な物品との交換、ペットボトルキャップはポリオワクチン945本分となっています。



PR活動

札幌市の地下歩行空間、大通BISSE、HUGマートの3ヶ所で、ちらしやパンフレット、CM動画（全て生徒の作品）でのPR活動や特産品の販売活動を役場の皆様や十津川村、地域おこし協力隊、農家の方々に協力いただきながら行っています。



母村交流

十津川中学校が修学旅行で来町した時に、本校3年生との交流会を行なっています。お互いの学校の紹介や合唱交流、レクや一緒に昼食をとるなど生徒の精一杯のおもてなしで、絆を深め合う交流会となっています。

